目次

目次 1
安全上のご注意 2
使用上のご注意 8
安全について 10
安全上のご注意 11
眼の安全保護について 13
はじめに 14
製品の特長 14
パッケージ内容 15
製品の各部名称 16
本体 16
コントロールパネル 17
接続端子 18
リモコン（マウス機能付） 19
設置方法 20
プロジェクターの接続 20
コンピュータ/ノートパソコンとの接続 20
ビデオ機器との接続 21
プロジェクターの電源オン/オフ 22
プロジェクターの電源を入れる 22
プロジェクターの電源を切る 23
警告インジケータ 23
投写映像の調整 24
プロジェクターの高さを調整する 24
プロジェクターのズーム/フォーカスを調整する 25
投写映像サイズと投写距離（プロジェクターとスクリーンの距離） 25
ユーザーコントロール 26
コントロールパネルおよびリモコン 26
オンスクリーンメニュー 29
操作方法 29
メニューツリー（階層） 30
画像 31
ディスプレイ 35
セットアップ 38
オプション 40
付録 44
故障かなと思ったら 44
ランプの交換 48
互換モード 49
RS232コマンド 50
天井への取り付け 51
Optoma 社 お問い合わせ先 52

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例） 「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

注意 ⚠

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力・電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
  万一、落としたり、衝撃を与えた場合は使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- 不安定な場所におかない。
- 不安定な置き方をしない。

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、感電・ショート・火災の原因になります。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりした場合は使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてしてください。

安全上のご注意

厳守	長時間に渡って映像をみる場合は一定の間隔で休憩をとってください。
禁止	電源をオフにしてもランプ冷却のため排気ファンはしばらく回り続けます。冷却ファンが止まるまで電源ケーブルを抜かないでください。
禁止	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。ガラスが汚れると使用中に破損する恐れがあります。
厳守	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
厳守	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。 ガラスが割れ、けがをする恐れがあります。
禁止	リモコンは、指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。 指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。 また、リモコンは濡らさないでください。故障の原因になります。
厳守	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
厳守	電池取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。 （電池には＋極と－極があります。）故障の原因となります。
注意	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。 故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

警告 ⚠

厳守	煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
禁止	本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気口（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、通気口の近くや本体の上にリモコンなどの物を置かないで下さい。
禁止	本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。 火災の原因となることがあります。
厳守	温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。
分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様による修理は行なわないでください。 火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。
禁止	本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通気口には異物がはいらないよう注意してください。
禁止	ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。万一、落としたり衝撃を与えた場合は使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
禁止	使用中はレンズをのぞかないでください。 レンズからは非常に強い光が発せらていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

安全上のご注意

禁止	本製品は下記のようなところで使用しないでください。 故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。 ● ほこりの多いところ ● 振動や衝撃の加わるところ ● 不安定なところ ● 通気口（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるとこ ● 温度差の激しいところ ● 水分や湿気の多いところ ● 温度が高いところ
禁止	使用中や使用後は通気口（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。 やけどの原因になりますので、触らないでください。
厳守	ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。
禁止	電源ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。 ● 引っ張ったり、折り曲げたりしない ● 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない ● 加工しない ● 熱器具のそばで使わない
厳守	電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。
厳守	電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で触らないで下さい。濡れた手で触ると感電の原因になります。

禁止	電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。 ● 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。 ● 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。
厳守	電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。
禁止	（+）（−）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守	電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
禁止	電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。 液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守 注意 発火注意	電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。 ● 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください ● 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ● 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。 ● 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。
厳守	本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

使用上のご注意

設置場所について

本プロジェクターは220 Wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通気口（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高温になる場所には設置しないでください。直射日光があたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所は、 強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約2,000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
  ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全について

	矢の付いた稲妻の形をした灰色の正三角形は、製品パッケージ内に絶縁していない感電の恐れがある「危険電圧」が存在することを警告するためのものです。
	正三角形に感嘆符のある記号は、製品の操作および保守点検（修理）に関する重要な指示を示します。

警告：火災や感電の危険を軽減するため、本製品に雨や水気がかからないようにしてください。本製品内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。修理は必ず有資格者に依頼してください。

クラス B 電波障害規制

このクラス B 装置は、カナダ電波障害発生装置規則のすべての要件を満たしています。

安全に関する重要なご注意

1. ご使用の前に必ずお読みください。
2. いつでも見られるところに必ず保管してください。
3. すべての注意事項をお守りください。
4. 製造元の指示に従って設置してください。

   A. 通気口を塞がないでください

   本製品の安定した作動を確保し、オーバーヒートを避けるため、プロジェクタを適切な通気の妨害がない場所に置いてください。たとえば、ベッドやソファー、カーペットなど、通気口が塞がれる可能性のある所には置かないでください。通気口から空気が流れないような本棚やキャビネットなどの囲まれた場所に置かないでください。

   B. 本プロジェクタを水気の多い場所で使用しないでください。火災や感電の危険を軽減するため、本プロジェクタに雨や水気がかからないようにしてください。

   C. 熱を発生するラジエータ、ストーブ、その他の器具（アンプなど）といった熱器具の近くに設置しないでください。
5. 必ず乾いた布で拭いてください。
6. 製造元が指定した部品/付属品のみを使用してください。
7. 修理は必ず有資格者に依頼してください。次のようにプロジェクタが破損した場合は、修理が必要になります。
   - 電源コードのプラグなどが破損した。
   - 液が漏れたり、プロジェクタに物が入った。
   - プロジェクタに雨や水気がかかり、正常に動作しない。またはプロジェクタを落とした。

   プロジェクタをご自分で修理しないでください。カバーを開けたり、取り外したりすると、危険電圧やその他の危険が生じる恐れがあります。Optomaに最寄りの認定修理センターをお尋ねください。
8. プロジェクタに物や液体が入らないようにしてください。危険な電圧点に触れたり部品がショートすると、火災や感電の原因になります。
9. プロジェクタのケースに記載の安全に関する記号を確認してください。
10. プロジェクタの調整や修理は、必ず有資格者が行ってください。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくために、本取扱説明書に記載のすべての警告、注意事項、メンテナンス方法をお守りください。

⚠ 警告 - ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞかないでください。強力な光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。

⚠ 警告 - 火災や感電の原因となるため、本製品を雨や湿気にさらさないようにしてください。

⚠ 警告 - 本製品のカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。

⚠ 警告 - ランプを交換する際は、本体の熱が冷めてから行い、取扱説明書に記載の指示に従ってください（48ページ参照）。

⚠ 警告 - 本製品は、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。

⚠ 警告 - ランプモジュールを交換したら、画面表示の「オプション」>「ランプの設定」メニューで「ランプリセット」機能をリセットします。41ページを参照してください。

⚠ 警告 - 冷却サイクルが完了したことをご確認の上、プロジェクタの電源コードを抜いてください

⚠ 警告 - プロジェクタの電源を入れてから信号源を設定してください。

⚠ 警告 - プロジェクタが動作中は、レンズキャップを使用しないでください。

⚠ 警告 - ランプが寿命に近づくと「ランプを交換してください」というメッセージが表示されます。
お近くの販売店やサービスセンターにご連絡、すぐにランプを交換してください。48ページを参照してください。

使用上のご注意

推奨事項：

- お手入れをするときは、プロジェクタの電源を切ってください。
- ディスプレイ筐体は、中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項：

- 本体の通風用のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください:
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

眼の安全保護について

- プロジェクターが動作中は、レンズをのぞかないでください。
- プロジェクターの光源に向いて立たないでください。出来る限り、離れてください。

製品の特長

Optoma社製 EP1690プロジェクタをお買い求め頂き、誠にありがとうございます。本製品は、WXGA シングルチップ 0.65" DLP™プロジェクタです。以下の優れた機能が搭載されています。

- 0.65型WXGA(1280×768)DDR DMD™パネル
- 単板DLP™　方式
- HDTV(480i/P, 576i/P, 720P, 1080i/P)、Full NTSC, NTSC4.43, PAL, PAL-M、PAL-N, SECAM
- マルチオート機能 : 自動捜索機能、ユーザ変更設定を自動的に保存
- マウス機能付き 赤外線リモコン(レーザーポインタ付)
- 操作が簡単な多言語対応オンスクリーンメニュー
- デジタルキーストン補正(台形補正)および高品質フルスクリーン画像リスケール
- 操作が簡単なコントロールパネル
- 3Wアンプ内蔵スピーカー搭載(1台)
- 複数の音声入力
- UXGA, SXGA+, WXGA, XGA, SVGA, VGA, VESA, PC, Macintosh
- Mac対応
- DVI-D対応(HDCP準拠)

登録商標
BriliantColor™, DLP™, DMD™はテキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
※SVGA, XGA, WXGA™はIBM corp.の登録商標です

パッケージ内容

本機には、以下のアイテムが含まれています。すべてのアイテムが揃っているかご確認ください。不足品がある場合には、ただちにお買い求めの販売店へご連絡ください。

プロジェクター本体
(レンズキャップ付き)

電源コード(1.8m)

VGAケーブル(1.8m)

RS232ケーブル(1.8m)

USBケーブル(1.8m)

HDMI/DVI
変換アダプタ

単四電池(2本)

コンポジットビデオケーブル(1.8m)

D-SUB/Y-Pb・Pr
変換アダプタ

ワイヤレス リモコン

付属書類:

- ☑ ***取扱説明書***
- ☑ ***クイックスタートカード***
- ☑ ***保証書***
- ☑ ***トラブル解決クイックガイド***

電源コードについて注意事項:

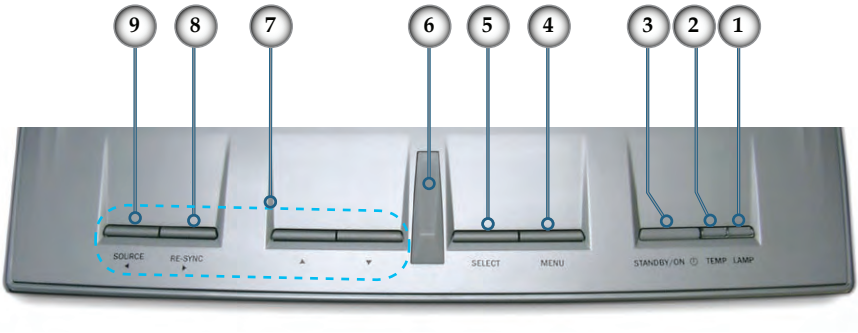
1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様(AC100V)になりますので、海外では使用できません。

製品の各部名称

本体

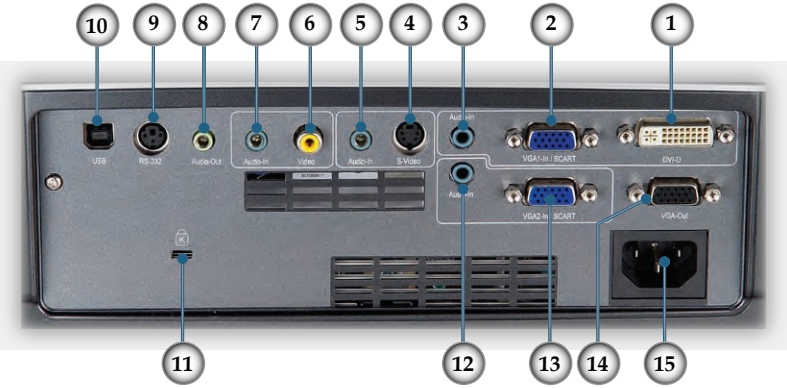
1. コントロールパネル
2. ズームレバー
3. フォーカスリング
4. エレベータボタン（両側各1個）
5. エレベータフット
6. リモコン受光部
7. 電源ボタン
8. 電源ソケット
9. 接続端子

コントロールパネル



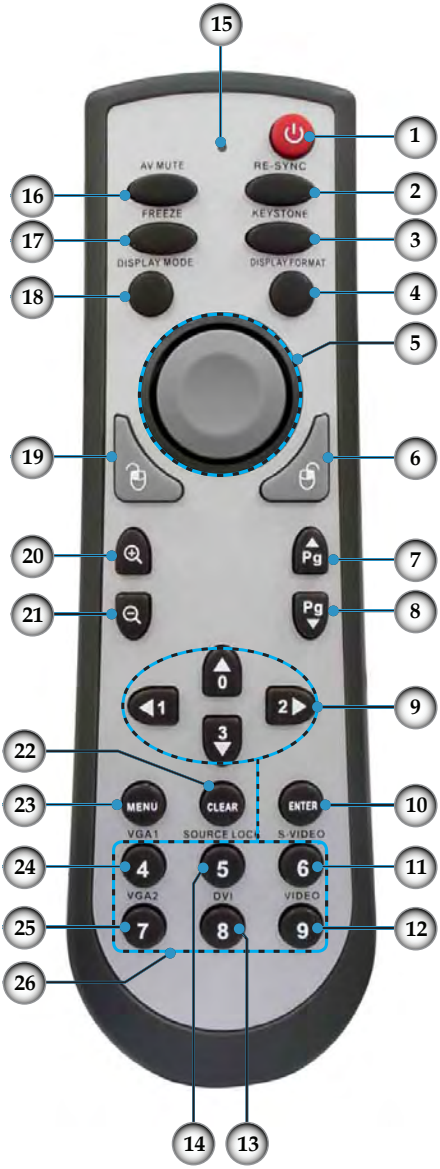
1. ランプインジケータLED
2. 温度インジケータLED
3. スタンバイ/オンLED
4. メニュー（オン/オフ）
5. 選択
6. リモコン受光部
7. 4方向選択キー
8. 再同期
9. ソース

接続端子



1. DVI-D入力端子（PCデジタル/HDCP入力）
2. VGA1入力SCART端子（PCアナログ信号/HDTV/コンポジットビデオ入力用）
3. 音声入力端子（DVI-DまたはVGA1入力SCART用）
4. S-ビデオ入力端子
5. 音声入力端子（S-ビデオ用）
6. コンポジットビデオ入力端子
7. 音声入力端子（コンポジット用）
8. 音声出力端子
9. RS232端子
10. USB端子（PCと接続/リモートマウス機能用）
11. 盗難防止用 Kensington™ ロックポート
12. 音声入力端子（VGA2入力SCART用）
13. VGA2入力SCART端子（PCアナログ信号/HDTV/コンポジットビデオ入力用）
14. モニタループスルー出力端子
15. 電源ソケット

リモコン（マウス機能付）



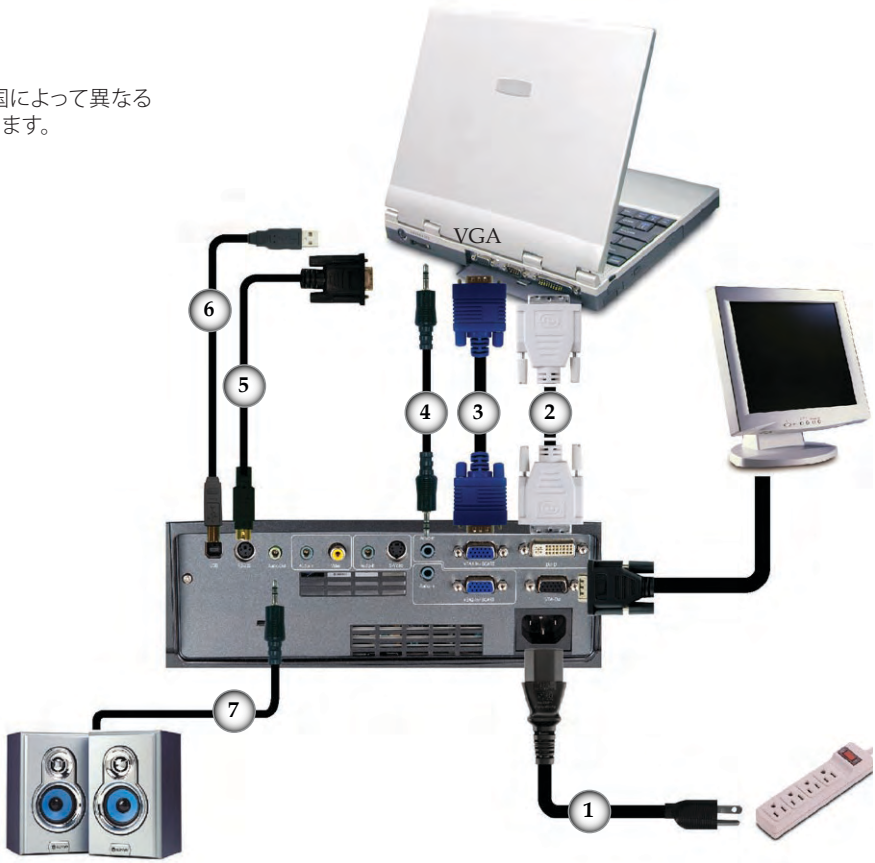
1. 電源
2. 再同期
3. 垂直キーストン
4. ディスプレイ方式
5. マウス
6. マウス右クリック
7. マウスページアップ
8. マウスページダウン
9. 4方向選択キー
10. Enter
11. S-ビデオソース
12. コンポジットビデオソース
13. DVI ソース
14. ソースロック
15. ボタンLED
16. AV ミュート
17. 画面のフリーズ
18. ディスプレイモード
19. マウス左クリック
20. ズームイン
21. ズームアウト
22. クリア
23. メニュー
24. VGA1 ソース
25. VGA2 ソース
26. 数字ボタン

プロジェクタの接続

コンピュータ/ノートパソコンとの接続

NOTE

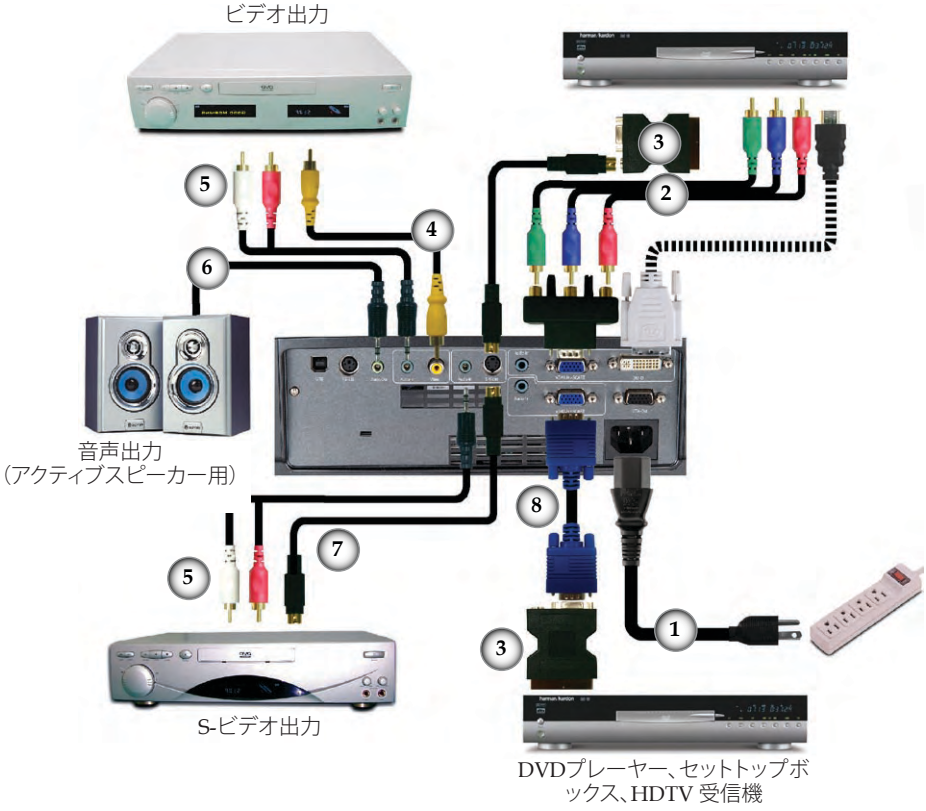
付属品は国によって異なる場合があります。



音声出力（アクティブスピーカー用）

1. 電源コード
2. DVI-DVI ケーブル
3. VGA-VGAケーブル
4. 音声入力ケーブル
5. RS232ケーブル
6. USBケーブル
7. 音声出力ケーブル

ビデオ機器との接続



1.	電源コード
2.	RCA コンポーネントケーブル（YPbPr用）
3.	SCART VGA/S-ビデオアダプタ
4.	コンポジットビデオケーブル
5.	音声入力ケーブル
6.	音声出力ケーブル
7.	S-ビデオケーブル
8.	VGA-VGAケーブル

NOTE 付属品は国によって異なる場合があります。

プロジェクタの電源オン/オフ

プロジェクタの電源を入れる

1. レンズキャップを取り外してください。❶
2. 電源コードと信号ケーブルが正しく接続されていることを確認して下さい。正しく接続されている場合は、電源LEDが緑で点滅します。
3. コントロールパネルの [スタンバイ/オン] ボタンを押してランプの電源を入れます。❷ 電源が入ると、電源LEDが緑の点灯に変わります。
4. ソース（コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤー等）の電源を入れます。プロジェクタは自動的にソースを捜索（検出）します。

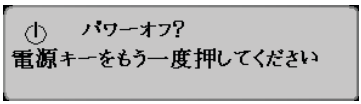
❖ ***複数のソースを同時に接続している場合は、コントロールパネルの [ソース] ボタンを使用するか、またはリモコンのソースボタンを押すと切り換えることができます。***

NOTE

プロジェクタの電源を入れてから信号源を設定してください。

プロジェクタの電源を切る

1. [スタンバイ/オン] ボタンを押してプロジェクタランプの電源を切ります。するとプロジェクタ画面に次のメッセージが表示されます。



   電源を切るには、もう一度 [スタンバイ/オン] ボタンを押します。押さなければメッセージは5秒後に消えます。

2. 冷却ファンが冷却サイクルを終了するまで約30秒間動作を続けます。電源LEDが点滅し始めると、プロジェクタがスタンバイモードに切り換わったことを意味します。

   スタンバイモード中は、[スタンバイ/オン] ボタンを押すだけでプロジェクタを再起動させることができます。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクタから抜きます。
4. 電源を切った直後は、プロジェクタの電源を入れないでください。

警告インジケータ

- [TEMP（温度）] インジケータが赤く点灯した場合は、プロジェクタが過熱状態であることを意味します。プロジェクタの電源が自動的に切れます。詳細は46ページをご参照ください。
- [LAMP（ランプ）] インジケータが赤く点灯した場合は、ランプに問題が発生したことを意味します。プロジェクタの電源を切って電源コードをコンセントから抜き、最寄の販売店または弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。詳細は52ページをご参照ください。
- [LAMP（ランプ）] インジケータが赤く点滅した場合は、ファンが正常に機能していないことを意味します。プロジェクタの使用を中止し、コンセントから電源コードを抜いて、最寄の販売店あるいは弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。詳細は52ページをご参照ください。

投写映像の調整

プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのエレベータフットが付いています。

映像を上に移動するには :

1. エレベータボタンを押します❶。
2. 画像を好みの表示角度まで上げ❷ 、ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。
3. フットのネジを使って❸ 、表示角度を微調整します。

映像を下に移動するには :

1. エレベータボタンを押します
2. 画像を下げ、ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。
3. フットのネジを使って❸ 、表示角度を微調整します。

NOTE

❖投影中の調整は、側面の排気口に注意してください。やけどの恐れがあります。

プロジェクターのズーム/フォーカスを調整する

ズームレバーを回して、画像の大きさを調整します。フォーカスリングを回して、画像が最も鮮明に映るように調整します。本プロジェクターは、投射距離1.5～12.0mの範囲でフォーカスを合わせることができます。

■投写距離表

「アスペクト比16:9」

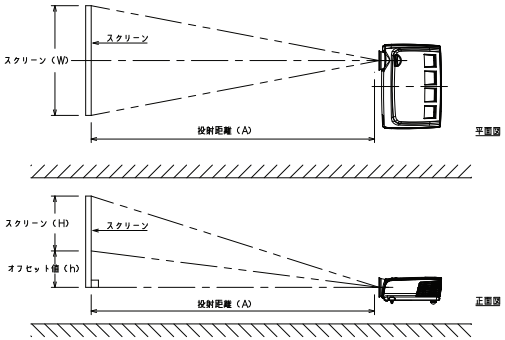
スクリーンサイズ（型）	投写距離（A）		オフセット値（h） ［スクリーン端～レンズセンターまで］
	最短	最長	
50	約1.75m	約2.10m	約24cm
60	約2.10m	約2.52m	約28cm
70	約2.45m	約2.94m	約33cm
80	約2.80m	約3.36m	約38cm
90	約3.15m	約3.79m	約43cm
100	約3.50m	約4.21m	約47cm
120	約4.20m	約5.05m	約57cm
150	約5.25m	約6.31m	約71cm
200	約7.00m	約8.41m	約95cm
250	約8.74m	約10.52m	約118cm
300	約10.49m	約12.62m	約142cm

「アスペクト比16:10」

スクリーンサイズ（型）	投写距離（A）		オフセット値（h） ［スクリーン端～レンズセンターまで］
	最短	最長	
50	約1.70m	約2.05m	約22cm
60	約2.04m	約2.46m	約26cm
70	約2.38m	約2.86m	約30cm
80	約2.72m	約3.27m	約34cm
90	約3.06m	約3.68m	約39cm
100	約3.40m	約4.09m	約43cm
120	約4.08m	約4.91m	約52cm
150	約5.10m	約6.14m	約65cm
200	約6.81m	約8.18m	約86cm
250	約8.51m	約10.23m	約108cm
300	約10.21m	約12.28m	約129cm

（注）投射距離（A）は計算値のため若干変動します。

■投写関係図



（注）この図面は正確な縮尺ではありません。

コントロールパネルおよびリモコン

プロジェクタは、コントロールパネルおよびリモコンの2種類の方法で操作することができます。

コントロールパネル

コントロールパネルの使用

Stanby/ON（スタンバイ/オン）	22～23ページの「プロジェクタの電源オン/オフ」を参照してください。
ソース	[ソース] を押して入力信号を選択します。
Menu（メニュー）	このボタンを押してメニューをオン/オフします。
4方向選択キー	▲ ▼ ◀ ▶ を押してメニュー間を移動します。
Select（選択）	選択した項目を確定します。
Re-Sync（再同期）	プロジェクタを自動的に入力ソースと同期化します。

リモコン

NOTE

❖マウスコントロールでは、コンピュータを USB 接続する必要があります。

リモコンの使用

Power（電源）	22～23 ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
Re-Sync（再同期）	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。
垂直キーストン	プロジェクターを斜め方向から投写することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
Display Format（ディスプレイ方式）	オンスクリーンメニューの [ディスプレイ方式] を表示し、お好みのアスペクト比を選択します。
AV Mute（AV ミュート）	一時的に音声と映像を切ることができます。
Freeze（画面のフリーズ）	[画面のフリーズ] ボタンを押すと、スクリーン画像が一時停止します。もう一度押すと解除します。
Display Mode（ディスプレイモード）	ディスプレイモードを、シネマ、ブライト、TV、sRGB、 User の中から選択します。
マウスコントロール	このボタンを押して、ページ上のマウスを移動させます。
マウス右クリック	マウスを右クリックします。
マウス左クリック	マウスを左クリックします。
マウスページアップ	このボタンを押して、ページを上に移動します。
マウスページダウン	このボタンを押して、ページを下に移動します。
ズームイン	ズームインして画像を拡大します。
ズームアウト	ズームアウトして画像を縮小します。
4方向選択キー	▲ ▼ ◀ ▶ を押してメニュー間を移動します。
Menu（メニュー）	プロジェクターのオンスクリーンメニューを表示/終了します。
Clear（クリア）	選択内容を消去します。
Enter	選択した項目を確定します。
ソースロック	全接続ポートを自動捜索するか、現在の接続ポートをロックするかを選択します。
Video (ビデオ)	コンポジットビデオソースを選択します。

リモコンの使用

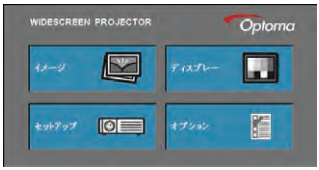
S-Video（S-ビデオ）	Sビデオソースを選択します。
VGA1	プライマリVGA入力ソースまたはSCARTソースを選択します。
VGA2	セカンダリVGA入力ソースまたはSCARTソースを選択します。
DVI	DVI-Dソースを選択します。

オンスクリーンメニュー

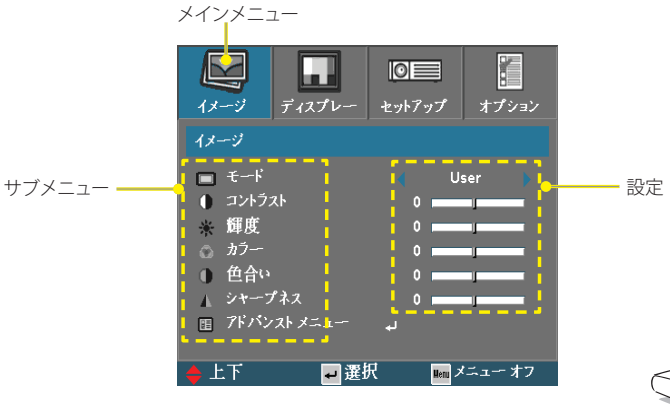
本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

操作方法

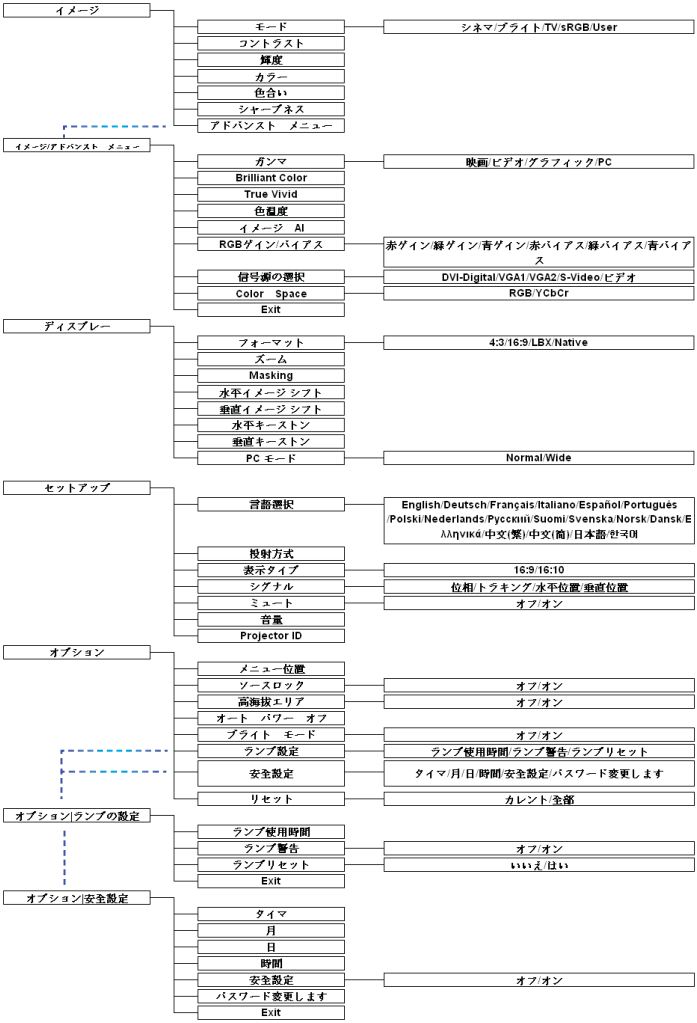
1. オンスクリーンメニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの [メニュー] ボタンを押します。



2. オンスクリーンメニューが表示されたら、◀▶ キーを使ってメインメニューの項目を選択します。特定のページを選択し、[選択(Enter)] キーを押してサブメニューに進みます。
3. ▲ ▼ キーを使って任意の項目を選択し、◀▶ キーを使って設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [選択(Enter)] を押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [メニュー] ボタンを押します。オンスクリーンメニューが閉じ、プロジェクタは自動的に新しい設定を保存します。



メニューツリー（階層）


イメージ
モード
シネマ/ブライト/TV/sRGB/User
コントラスト
輝度
カラー
色合い
シャープネス
アドバンスト　メニュー
イメージ|アドバンスト　メニュー
ガンマ
映画/ビデオ/グラフィック/PC
Brilliant Color
True Vivid
色温度
イメージ　AI
RGBゲイン/バイアス
赤ゲイン/緑ゲイン/青ゲイン/赤バイアス/緑バイアス/青バイアス
信号源の選択
DVI-Digital/VGA1/VGA2/S-Video/ビデオ
Color　Space
RGB/YCbCr
Exit
ディスプレー
フォーマット
4:3/16:9/LBX/Native
ズーム
Masking
水平イメージ シフト
垂直イメージ シフト
水平キーストン
垂直キーストン
PC モード
Normal/Wide
セットアップ
言語選択
English/Deutsch/Français/Italiano/Español/Português/Polski/Nederlands/Русский/Suomi/Svenska/Norsk/Dansk/Ελληνικά/中文(繁)/中文(簡)/日本語/한국어
投射方式
表示タイプ
16:9/16:10
シグナル
位相/トラキング/水平位置/垂直位置
ミュート
オフ/オン
音量
Projector ID
オプション
メニュー位置
ソースロック
オフ/オン
高海抜エリア
オフ/オン
オート　パワー　オフ
ブライト　モード
オフ/オン
ランプ設定
ランプ使用時間/ランプ警告/ランプリセット
安全設定
タイマ/月/日/時間/安全設定/パスワード変更します
リセット
カレント/全部
オプション|ランプの設定
ランプ使用時間
ランプ警告
オフ/オン
ランプリセット
いいえ/はい
Exit
オプション|安全設定
タイマ
月
日
時間
安全設定
オフ/オン
パスワード変更します
Exit

イメージ

モード

さまざまな映像方式用に最適化されたプリセット設定が用意されています。

- シネマ: ホームシアター用。
- ブライト
- TV
- sRGB: 標準PCカラー用
- User: ユーザー設定用。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ◀を押すとコントラストが弱くなります。
- ▶を押すとコントラストが強くなります。

輝度

画像の明るさを調整します。

- ◀を押すと画像が暗くなります。
- ▶を押すと画像が明るくなります。

カラー

ビデオ映像の色の濃さを調整します。

- ◀を押すと画像の色が薄くなります。
- ▶を押すと画像の色が濃くなります。

NOTE

“カラー” 機能は、ビデオモードだけでサポートされています。

ユーザーコントロール

イメージ

NOTE

"カラー" 機能は、ビデオモードだけでサポートされています。

色合い

赤と緑の色バランスを調整します。

- ◀を押すと画像の緑が強くなります。
- ▶を押すと画像の赤が強くなります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀を押すと画像がソフトになります。
- ▶を押すと画像がくっきりとします。

イメージ/アドバンスト

ガンマ

あらかじめ用意したガンマテーブルを選択することで、好みの画質を選択することができます。

- 映画 : ホームシアター用。
- ビデオ: ビデオまたはテレビソース用。
- グラフィック : 画像ソース用。
- PC : PCまたはコンピュータソース用。

Brilliant Color

この調整可能な項目では新しいカラー処理アルゴリズムとシステムレベルでの拡張機能を使用し、輝度をより高め、画像の色に忠実で活き活きした色を再現します。範囲は“0”～“10”です。画像をより鮮やかにしたい場合は、最大設定方向に調整します。画像をよりスムーズに、より自然にしたい場合は、最小設定方向に調整します。

True Vivid

ここではガンマモードと拡張機能を選択し、画像の鮮明度を大幅に高めることができます。範囲は“0”～“3”です。

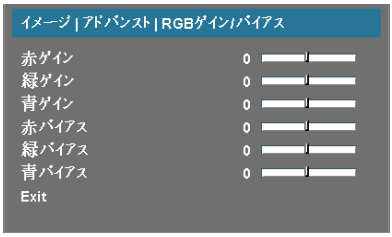
色温度

色温度を調整します。範囲は“0”～“2”です。温度が高いと、青みの強い冷たい雰囲気の映像になり、温度が低いと、赤みの強い暖かい雰囲気の映像になります。

イメージ/アドバンスト

RGB/ゲイン/バイアス

◀または▶を押して以下のメニューに進み、▲または▼を使って項目を選択します。◀または▶を使って、輝度（ゲイン）およびコントラスト（バイアス）を調整し好みの色調に設定します。



信号源の選択

入力ソースを有効または無効にします。◀または▶を押して以下のメニューに進み、▲または▼を使って項目を選択します。[選択(Enter)]を押すと選択が確定されます。プロジェクタでは、選択解除された入力ソースを捜索しません。

Color Space

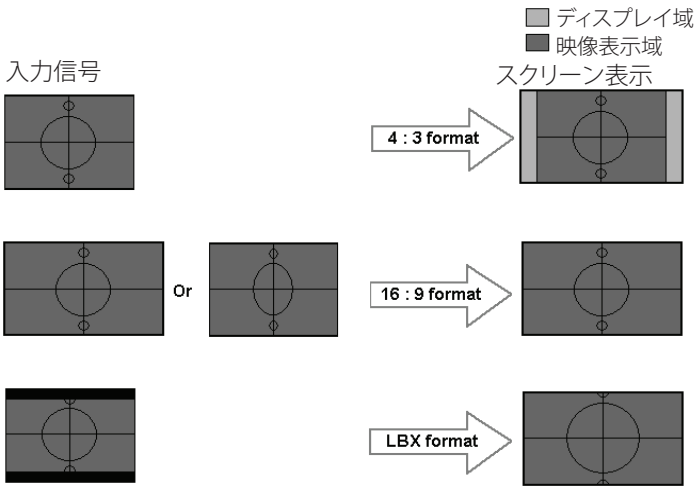
RGB または YPbPr の中から適切なカラーマトリクス形式を選択します。

ディスプレイ

フォーマット

ここで、ご希望のアスペクト比を選択します。

- 4:3: このフォーマットは、ワイドスクリーンディスプレイ用に拡張されていない4x3入力ソース用です。
- 16:9: このフォーマットは、ワイドスクリーンディスプレイ用に拡張された HDTV および DVD などの16x9入力ソース用です。
- LBX: 16x9ではないLetterBoxソースを投写する場合に選択します。
- Native: このフォーマットでは、拡大縮小せずに元画像を表示します。



ディスプレイ

LBX モードの詳細 : (Letter-Box : シネマスコープサイズでのテレビ放映)

1. 一部の Letter-Box DVD コンテンツは 16x9 TV 用に拡張されていないため、画像が 16:9 ディスプレイに正しく表示されません。4:3モードを使って正確な情報を表示することができます。
   ただし、コンテンツ自体が4:3でない場合、16:9ディスプレイで画像の周りに黒のバーが表示されます。この種のコンテンツの場合は、LBX モードを使って16x9ディスプレイに最大限いっぱいに表示することができます。

ズーム

- ◀を押すと拡大された映像を縮小します。
- ▶を押すと投影した映像を拡大します。

Masking

Masking 機能では、ビデオ画像のエッジのノイズをカバーします。ビデオソースによりエッジ部分に出るノイズをマスキングすることで目立たなくします。

ディスプレイ

水平イメージ シフト

投写した画像の位置を左右にシフトします。

垂直イメージ シフト

投写した画像の位置を上下にシフトします。

水平キーストン

◀または▶を押して、左右斜め方向から投影したときにおきる台形ひずみを補正します。

垂直キーストン

◀または▶を押して、上下斜め方向から投影したときにおきる台形ひずみを補正します。

PC モード

このモードは、EP1690を VGA2 端子を通じてアナログまたは VGA1 のいずれかの PC 信号で使うときのみ使用します。

- Wide: PC 出力がワイド画面方式の解像度の場合にこの設定を選択します。

  Wide 画面解像度は、854 x 480、1280 x 720、1280 x 768、1920 x 1080 などです。

- Normal: PC 出力が標準 (4:3) 解像度の場合にこの設定を選択します。

  Normal 画面解像度は、640 x 480、800 x 600、1024 x 768、1152 x 864、1152 x 870 (MAC 用)、1280 x 960、1280 x 1024、1400 x 1050 などです。*

*サポートされているすべての解像度については49ページをご参照ください。

NOTE

"PC モード" 機能は、VGA1または VGA2 端子を通じた PC 信号のみでサポートされています。

セットアップ

言語選択

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。◀または▶ を押してサブメニューに入り、▲または ▼ キーを使って希望の言語を選択します。[選択(Enter)] を押すと選択が確定されます。

投射方式

- フロント

  工場出荷時の初期設定。

- リア

  この機能を選択すると、プロジェクターは映像の左右を反転します。プロジェクタを透過スクリーンの後ろに設置します。

- フロントー天井

  この機能を選択すると、プロジェクターは映像の上下左右を反転します。プロジェクタを天井に逆さに吊り下げて設置します。

- リアー天井

  この機能を選択すると、プロジェクターは映像の上下を反転します。プロジェクタを透過スクリーンの後ろ天井に逆さに吊り下げて設置します。

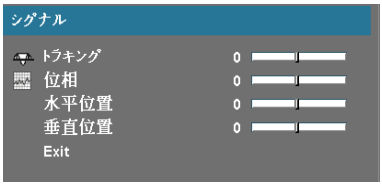
表示タイプ

表示方式を16:9（1280 x 720）または16:10（1280 x 768）の中から選択します。

セットアップ

シグナル

- トラッキング : ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。 画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- 位相 : ディスプレイデータ周波数を調整して、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。映像に縦の縞模様やちらつきが表れる場合は、この機能を使って調整します。



- 水平位置 : 水平位置を調整します。
- 垂直位置 : 垂直位置を調整します。

ミュート

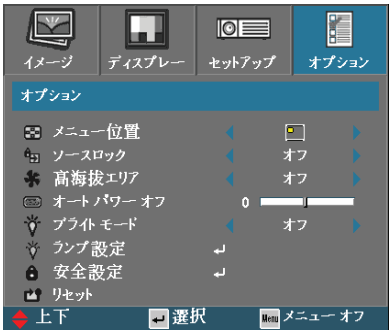
- [オン] を選択するとミュートがオンになります。
- [オフ] を選択するとミュートがオフになります。

音量

- ◀を押すと音量が下がります。
- ▶を押すと音量が上がります。

Projector ID

プロジェクタを個別にRS232から操作することができます。範囲は01～99です。



オプション

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

ソースロック

オフ：接続した入力端子の信号がなくなると信号が入力されている入力端子を自動的に探します。
オン：入力信号の有無に関係なく選択した接続端子に固定します。

高海抜エリア

プロジェクターを高地で使用する場合、[オン] 設定にしてください。[オン] 設定にした場合、ファンの回転が上がり、音が少し大きくなります。

オートパワーオフ

タイマの時間を設定します。プロジェクターへの入力信号が途切切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます。

ブライトモード

[オン] を選択するとランプの光量を減らしランプの消費電力を抑えます。このモードを選択するとランプ寿命が延びる傾向が見られます。

オプション/ランプの設定

ランプ使用時間

ランプの累計運転時間を表示します。

ランプ警告

“ランプの交換”時における警告メッセージの表示／非表示を切り換えるには、この機能を選択します。ランプの寿命が切れる30時間前にメッセージが表示されます。

ランプリセット

ランプを交換した後にランプの使用時間をリセットします。

オプション / 安全設定

タイマ（月/日/時間）

時間機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。安全設定が「オン」の場合、設定したこの時間が経過すると、プロジェクターからパスワードを入力するよう要求されます。（パスワードは、リモコンの数字ボタンを使います。）パスワードを入力しなかったり、間違って入力するとプロジェクターの電源が切れます。

安全設定

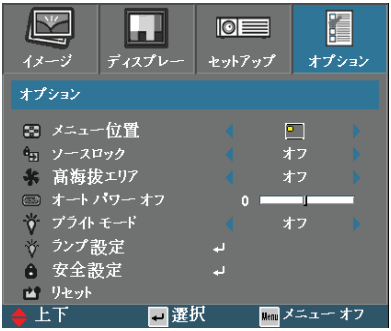
- オン : [オン] を選択すると、プロジェクタの電源を入れるときにセキュリティ認証を行います。
- オフ : [オフ] を選択すると、セキュリティー認証を行うことなくプロジェクタの電源を入れることができます。

パスワード変更します

数字ボタンを押してパスワードを入力し、[Enter] キーを押して確定します。

1. [パスワード変更] を選択し、[Enter] を押すとパスワード入力画面に変わります。
2. 数字ボタンを使って現在のパスワードを入力し、[Enter] を押します。初期設定は「0000」です。
3. 新しいパスワード（4桁）を入力し、[Enter] を押します。
4. 確認のためもう一度新しいパスワードを入力し、[Enter] を押します。

オプション



リセット

変更した値や設定を、工場出荷時設定に戻します。

- カレント : 現在のソースの設定が工場出荷時設定に戻ります。
- 全部 : すべてのメニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合は、最寄の販売店あるいはカスタマーサービスまでご相談ください。お問い合わせ先につきましては、52ページをご参照ください。

問題 : スクリーンに何も画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- プロジェクター ランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクターの電源が入っているか確認してください。
- 「AV ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

問題 : 映像の両端が切れる、または映像に乱れやノイズが発生する

- リモコンまたはコントロールパネルの [再同期] を押してください。
- PC使用時 :

NOTE

❖ (*) コンピュータ信号には解像度WXGA (1280 x 768) を推奨します。

For Windows 3.x:

1. [Windows Program Manager] で、[Main] グループの [Windows Setup] アイコンをダブルクリックします。
2. [画面の領域] 設定が1600 x 1200ピクセル以上に設定されてないか確認してください (*)。

Windows 95, 98, 2000, XP:

1. [マイコンピュータ] アイコンから[コントロールパネル] フォルダを開き、[画面] アイコンをダブルクリックします。
2. [設定] タブを選択します。
3. [詳細] ボタンをクリックします。

それでもプロジェクタから画像全体が投写されない場合は、現在使用しているモニタディスプレイを変更する必要があります。以下の手順をご参照ください。

4. [画面の領域] 設定が1600 x 1200ピクセル以上に設定されてないか確認してください。
5. [Monitor (モニタ)] タブの[Change (変更)] ボタンを選択します。
6. [Show all devices (全デバイス表示)] をクリックします。次に、SPボックスで [Standard monitor types (標準モニタタイプ)] を選択し、[Models (モデル)] ボックスで必要な解像度モードを選択します。

- ノートパソコン使用時 :
  1. まず、上記の手順に従ってコンピュータの解像度を調整します。
  2. 次に、トグル出力設定を押します。例 : [Fn]+[F4]

Compaq ⇨	[Fn]+[F4]	Packard Hewlett ⇨	[Fn]+[F4]
Dell ⇨	[Fn]+[F8]		
Gateway ⇨	[Fn]+[F4]	NEC ⇨	[Fn]+[F3]
IBM ⇨	[Fn]+[F7]	東芝 ⇨	[Fn]+[F5]

Mac アップル :
System Preference（システム環境設定）⇨ Display（ディスプレイ）
⇨ Arrangement（調整）⇨ Mirror display（ミラーディスプレイ）

- 解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクタを含むすべての機器を再起動してください。

問題 : ノートパソコンの画面に、投写映像が表示されない

- ノートパソコン使用時 :

  ノートパソコンの機種によっては、第二ディスプレイ機器使用中は、スクリーンが自動的に無効となります。再びスクリーンを有効にする方法は機種によって異なります。詳細につきましては、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

問題 : 画像が乱れる、またはちらつく

- [トラッキング] を使って修正してください。詳しくは39ページをご参照ください。
- コンピュータのモニタのカラー設定を変更してください。

問題 : 映像に縦の縞模様が出る

- [位相] を調整してください。詳しくは39ページをご参照ください。
- グラフィックカードのディスプレイモードがプロジェクタと一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。

問題 : 画像のピントが合っていない

- プロジェクタレンズのフォーカスリングで調整してください。
- プロジェクタと投写スクリーン間の距離が1.5～12m（4.9～39.4フィート）以内にあることを確認してください。詳細は25ページをご参照ください。

問題 : 16:9 DVDを再生表示しているとき、映像が伸びる

プロジェクタは自動的に16:9 DVDを検出し、デフォルトの4:3設定により全画面サイズへとデジタル調整することで、アスペクト比を調整します。

それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。

- 16:9 DVDを再生している場合は、DVDプレーヤーのアスペクト比を4:3に設定してください。
- DVDプレーヤーでアスペクト比4:3を選択できない場合は、オンスクリーンメニューでアスペクト比を4:3に設定してください。

問題 : 映像が反転する

- スクリーンメニューから [セットアップ] → [投射方式] を選択し、投写方向を調整してください。

問題 : ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクタの電源を入れることはできません。ランプを交換するには、「ランプの交換」に記載の手順に従ってください。

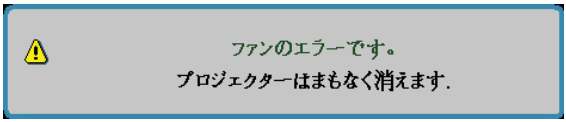
問題 : LED 点灯メッセージ

メッセージ	電源LED（緑）	ランプLED	温度LED
スタンバイ状態（電源コード接続済）	点滅	○	○
警告	☼	○	○
通常モード	☼	○	○
冷却	☼	○	○
エラー（ランプトラブル）	☼	○	☼
エラー（ファントラブル）	☼	点滅	○
エラー（過熱）	☼	☼	○

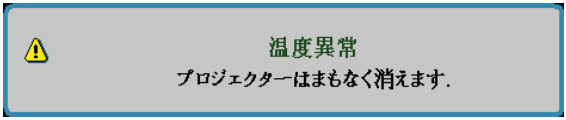
NOTE 点灯 ⇨ ☼　　消灯 ⇨ ○

問題 : 警告メッセージ

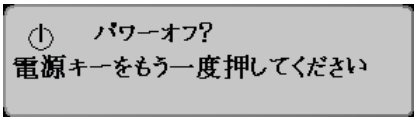
- ファンのトラブル :



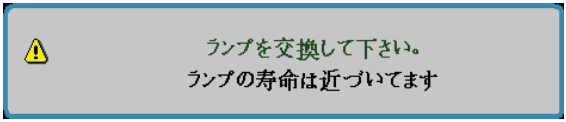
- 過熱 :



- 電源オフ時:



- ランプ交換 :

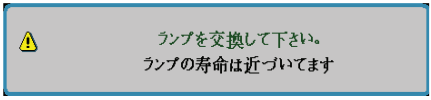


ランプの交換

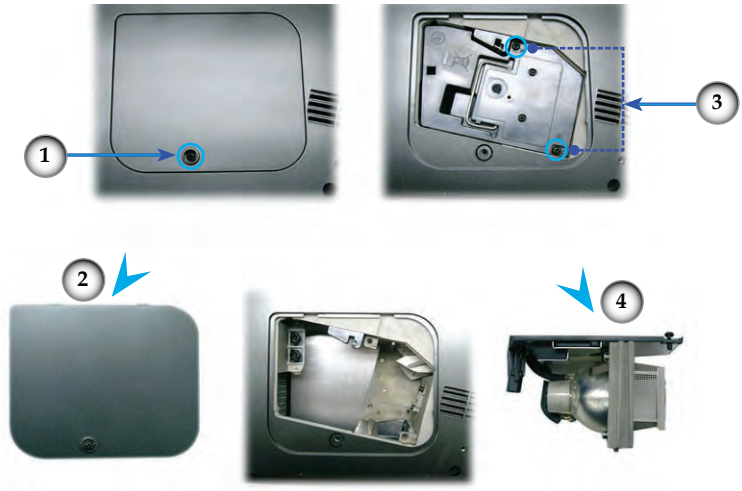
NOTE

⚠警告：
ランプ周辺は高温になっています。 約30分間お待ちいただき、ランプの熱が冷めてから交換してください。

プロジェクターは、ランプの使用時間を記録します。 寿命が近づくと警告メッセージが表示されます。



このメッセージが表示された場合は、すぐにランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクタが十分冷却されるまで約30分お待ちください。



NOTE

⚠警告：
人体に害を及ぼす危険がありますので、ランプモジュールを落としたり、ランプの電球に触れたりしないでください。電球が落ちると、破片が飛び、ケガをする恐れがあります。交換する時は素手で作業しないで下さい。

ランプ交換手順：

1. [電源/スタンバイ] ボタンを押してプロジェクタの電源を切ります。
2. ランプが十分冷却されるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーに取り付けられているネジ1本を、ドライバーで取り外します。❶
5. カバーを押し上げて取り外します。❷
6. ランプモジュールの2本のネジを取り外します。❸
7. ランプモジュールを引き上げます。❹

上記の手順とは逆に新しいランプモジュールを取り付けます。

互換モード

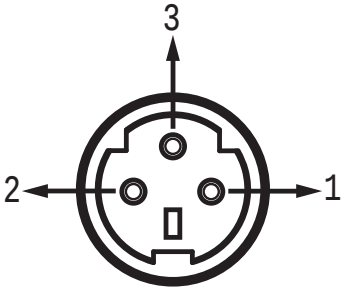
互換	解像度	V-Sync [Hz]（アナログ）	互換	解像度	V-Sync [Hz]（デジタル）
VGA	640 x 350	70	VGA	640 x 350	70, 85
	640 x 400	-		640 x 400	85
	640 x 480	60, 72, 75, 85		640 x 480	60, 72, 75, 85
	720 x 400	70, 85		720 x 400	70, 85
SXGA	800 x 600	50, 60, 70, 75, 85	SVGA	800 x 600	56, 60, 72, 75, 85
XGA	1024 x 768	60, 70, 75, 85	XGA	1024 x 768	60, 70, 75
WXGA	1280 x 768	60, 70	WXGA	1280 x 768	60
HD	1280 x 720	60	HD	1280 x 720	60
	1280 x 1024	60, 75	SXGA	1280 x 1024	60
SXGA+	1400 x 1050	50	SXGA+	1400 x 1050	60
UXGA	1600 x 1200	60	UXGA	1600 x 1200	60

Power Book G4	解像度	V-Sync [Hz]	Power G4	解像度	V-Sync [Hz]
VGA	640 x 480	60, 72, 75, 85	VGA	640 x 480	72, 75, 85
SXGA	800 x 600	60, 75, 85	SXGA	800 x 600	60, 75, 85
XGA	1024 x 768	60, 70, 75, 85	XGA	1024 x 768	60, 70, 75, 85
WXGA	1280 x 768	60, 70	WXGA	1280 x 768	60
HD	1280 x 720	60	HD	1280 x 720	-
	1280 x 1024	60, 75		1280 x 1024	60, 75
SXGA+	1400 x 1050	60	SXGA+	1400 x 1050	-
UXGA	1600 x 1200	60	UXGA	1600 x 1200	60

iMAC	解像度	V-Sync [Hz]
XGA	1024 x 768	60

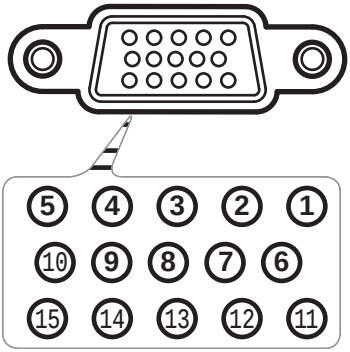
RS232コマンド

RS232端子



ピン番号.	信号名	I/O（プロジェクタ側）
1	TXD	OUT（出力）
2	RXD	IN（入力）
3	GND	—

VGA入力端子



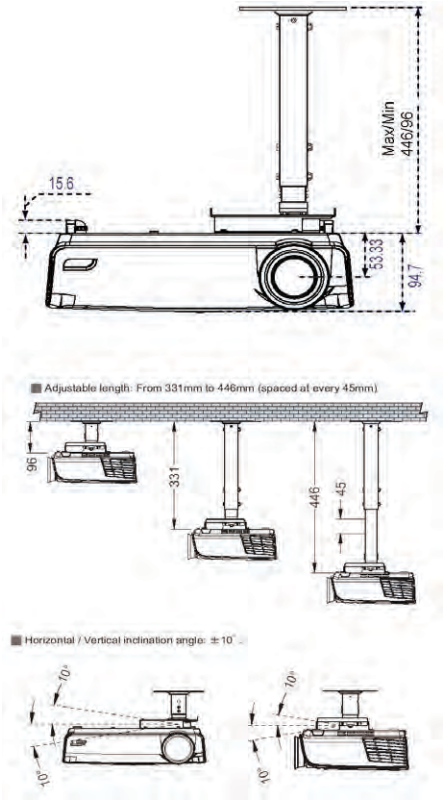
ピン番号	信号名
1	R（赤）/Cr
2	G（緑）/Y
3	B（青）/Cb
4	GND
5	GND
6	GND
7	GND
8	GND
9	DDC 5V
10	GND
11	GND
12	DDC 日付
13	HD/CS
14	VD
15	DDC クロック

天井への取り付け

1. プロジェクタの破損を避けるため、設置には天井設置パッケージを使ってください。
2. 他社製の天井設置キットをご利用になる場合、プロジェクタの取り付けに使用するネジが次の仕様に適合してるかをご確認してください。
   - **ネジの種類 : M3**
   - **最大ネジ長 : 10mm**
   - **最小ネジ長 : 7.5mm**

NOTE

不適切な設置による破損は保証の対象になりません。



NOTE

⚠警告 :
1. 天井設置キットを他社からご購入された場合は、プロジェクタの底面を、最低でも10cm以上天井から離して設置してください。
2. エアコン、ヒーターなどの熱を発する機器から離して設置してください。熱源の近くに設置した場合は、プロジェクタが過熱し自動的に電源が切れる可能性があります。

Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

日本
株式会社オーエス　　お客様相談窓口 : 0120-46-5040
東京都足立区綾瀬3-25-18
オーエス本社ビル　　www.os-worldwide.com
メールアドレス : info@os-worldwide.com

アメリカ
715 Sycamore Drive　　TEL : 408-383-3700
Milpitas, CA 95035, USA　　FAX: 408-383-3702
www.optomausa.com　　メールアドレス : service@optoma.com

カナダ
120 West Beaver Creek Road Unit #9
Richmond Hill, ON L4B 1L2, Canada
TEL : 905-882-4228　　FAX: 905-882-4229
www.optoma.com

ヨーロッパ
42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
Tel : +44 (0) 1923 691 800　　Fax: +44 (0) 1923 691 888
www.optomaeurope.com
カスタマーサービス　　TEL : +44 (0)1923 691865
メールアドレス : service@tsc-europe.com

台湾
231 台北県新店市　　TEL : +886-2-2218-2360
民権路108号5階　　FAX: +886-2-2218-2313
R.O.C.　　www.optoma.com.tw
メールアドレス : services@optoma.com.tw　　asia.optoma.com

香港
Room 2507, 25/F., China United Plaza,
No. 1008 Tai Nan West Street, Lai Chi Kok, Kowloon, Hong Kong
Tel : +852-2396-8968　　Fax: +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国
5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,　　Tel : +86-21-62947376
Changning District　　Fax: +86-21-62947375
Shanghai, 200052, China　　www.optoma.com.cn

南米
715 Sycamore Drive　　Tel : 408-383-3700
Milpitas, CA 95035, USA　　Fax: 408-383-3702
www.optoma.com.br　　www.optoma.com.mx